

## 7月記者懇談会

平成28年7月25日  
午前11時 203会議室

出席者：信濃毎日新聞、長野日報、みのわ新聞、伊那ケーブルテレビ  
事務局：三井室長、清水

### 町長月間予定【総務課 有賀】

スケジュール確認

8/22 から長寿者訪問が始まる。対象者約300人と昨年より100人ほど多い。訪問希望者を現在取りまとめている。詳細は決まり次第報告。

### 行事予定（担当課PR分）

#### 夏休み子ども寺子屋教室 8/3～8/4【町公民館 唐澤公民館長】

公民館で初の企画。町で手本を示し、今後は各地区で寺子屋教室を開催してもらう。30人の募集に対し多数の応募があった。48人に増員し開催をする。スケジュールは別紙のとおり。

#### セーフコミュニティ「事前指導」 8/7【危機管理SC推進室 小田切係長】

再認証取得に向けた事前指導。今回は、成果を求められるもの。スケジュールは、別紙のとおり。

#### 第3回箕輪町キャリア教育フォーラム 8/31【学校教育課 小沢係長】

小学校は、西小と中部小の総合学習での取組みを発表する。

中学校は、職場体験の学習発表を行う。また、第2部では、職場体験の受入れ事業者の方と中学生による意見交換を行う。

#### 農産物等セールス活動 【産業振興課 三澤さん】

8月に自然とふれあう体験や町の農産物をPRするイベントを行う。

##### ・8/4～8/6 江戸川ワイルドキャンプ

…平成23年から行い6回目。38人参加予定。沢川遊びや、ながた自然公園へ宿泊。

##### ・8/5 農業体験

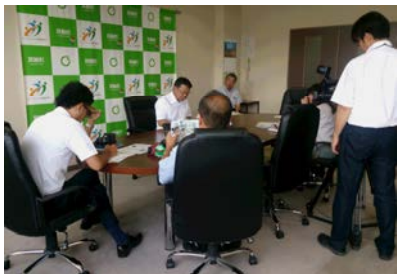
…3グループ申込み済、現在も受付中。スイートコーンの収穫体験や、ブロッコリーの植えつけ等を予定。

- ・8/9 日本橋プラザにてPR展  
…初参加。夏野菜の販売の他、町の観光PR、移住定住PRを行う。産業振興課と観光推進室、みのわの魅力発信室が参加。
- ・8/18 アグリフードエキスポ  
…4回目の参加。にこりこと与古美農園が参加し、販路拡大に向けた商談を行う。
- ・8/26 赤そばの町信州みのわ～赤そばと旬の野菜の土手お茶会～  
…昨年に続き2回目。手打ちそばの実演と試食の他、土手お茶会でのんびりした雰囲気を楽しんでもらう。全2回開催する。各回定員20人に対し、15人以上の申し込みがある。

### 広報トピックス 広報みのわ7月号記事紹介

- ・特集「UIターンした若者たち」…お盆休みや成人式にあわせ帰省した若者や家族に読んでもらうことで、箕輪町にUIターンすることを意識づけたい。
- ・町内一周駅伝…町内1周に変更。ルート等を紹介。
- ・「中学生職場体験レポート」…中学校の職場体験でみのわの魅力発信室にきた生徒が取材、紙面構成を行ったもの。

### 町長コメント



週末みのわ祭りが行われます。

定住自立圏のビジョンが完成し中心市である伊那市長へ提出された。8月8日に協議会があり、そこで町として受け入れていく。地域公共交通が焦点。上伊那北部は利便性が低いので高齢者、中学生、子どもに対し交通の利便性を高められるようにしたい。みのちゃんバスとの連携も検討し、伊那市街地や中央病院へのアクセスができるようにするのが重要なポイントだと思う。

地方創生交付金について、今まではソフト事業だけであったがハード事業も含むと示された。移住定住や農業振興のハード（建物・設備）について、採用されるよう準備を進めたい。

たべりこに関する報道は事実であり、把握しきれていない部分もある。料理長が行方不明で、お金に関する部分も明確になっていない。指定管理のため振興公社として取り扱ったが、公共施設の一部であることに変わりはない。不祥事があったことは大変申し訳ないと思う。二度と同じことがおこらないようにし、信頼の回復に努めたい。これから旬の野菜を堪能できる時期なので、社員一丸となり業務に取り組んでいく。

今後も情報をオープンにし、それに対応していくスタンスをとりたいと思う。

記者) 刑事告訴は。

町長) お金が無くなっているのは事実であるが、いずれ返金するとの連絡を受けているため、刑事告訴はせず内部処理で済ませたい。

記者) 被害届は。

町長) 出していないが、相談はしている。

記者) 情報の出し方について、組織的な統制がとれていなかったのでは。

町長) どこかで情報が流れでてしまった。知りえた情報を整理すべきだった。組織的にみれば、公社の情報整理がされていなかったので、今後選査をする。

記者) 憶測や見込みで情報が出てしまっているのでは。

町長) 公社の中で統制されていなかった。反省している。

次回 8月23日(火) 午前11時30分から 203会議室

## 公民館講座企画書

講座の名称	夏休み子ども寺子屋教室
対象者	町内小学生(1年生～6年生) 保護者同伴の町内未就学児童
実施日時・期間	8月上旬2日間(8月3日(水)、8月4日(木))
背景・目的	夏休み寺子屋教室の実施を各分館に促してきているが、分館によって温度差が大きく実施に踏み切れない分館が複数ある。また、事業報告を見ると従来の公民館事業を寺子屋教室に読み替えているところもある。 実施に踏み切れない理由としては分館役員の仕事が多く担いきれないことと、どのように実施したらよいか分からず躊躇していることの2点が大きいと思われる。そこで、町公民館で実施してノウハウを分館役員に学んでもらうとともに、公民館学級参加者に手伝ってもらい、各分館で実施する際のボランティアの養成も進めたい。 <u>地域ごとに教室を実施することが望ましいので、3年を目途に立ち上げを要請して町公民館での実施は終わらせる。</u>
実施概要	
実施日程	夏休み期間中の8月上旬2日間とし、午前9時から午後4時まで。
講座内容	勉強の時間、お昼づくりの時間、昼食休憩、工作や遊びの時間、片付け掃除の時間を基本に2日間実施する。
定員等	概ね30人以内とする。(子どものみの定数とし、保護者は加えない)
費用等	受講料は無料。工作材料代、昼食食材代、おやつ代等は実費負担。
講座の目標・効果	夏休みという長期の休み期間を活用して、世代間を超えた様々な体験を子どもたちにしてもらう。 分館の手本となるよう企画し、全分館で寺子屋教室が実施できるようにする。 公民館おやじ学級の一講座に位置づけ、受講生に手伝ってもらうなど、各地域で立ち上げた場合のボランティアの要請を進める。
講座の実施体制	公民館職員、分館役員、公民館運営審議会委員 公民館おやじ学級受講生、公民館ボランティア、公募ボランティア
スケジュール	
6月中	関係者による事前検討会議(おやじ学級代表、唐澤学校教育課指導主事、文化スポーツ課職員、公民館職員等) ボランティアの募集等
7月中	周知、参加者募集等
7月末	関係者、担当者による最終確認会議
8/3、4日	実施日、内容は詳細プログラムのとおり
8月中	関係者による反省会
予算措置	公民館講座として当初予算計上済

※意見欄

寺子屋教室の実施内容

1日目 8月3日(水)

時間	プログラム	場所	実施内容
7:30~ 8:30	早朝受入	交流ルーム	地域交流センター内廊下で受付 受付後は交流ルーム内で自由時間
8:30~ 9:00	受付	地域交流センター内廊下	地域交流センター内廊下で受付 受付後は研修室A Bで始まるまで待機
9:00~ 9:15	始めの会	研修室A B	みんなであいさつ、スタッフ紹介、約束事等の確認、班分けの発表、自己紹介
9:15~ 11:30	学習時間	研修室A B	班ごとに分かれて夏休み帳等の自習 途中2回ほど休憩(おやつ、飲み物自由)
11:30~ 12:15	調理時間	調理室 交流ルーム	昼食づくり(5年生、6年生) カレーライス、野菜サラダ等 1年生~4年生はお昼ができるまで教室内で遊びの時間
12:15~ 13:30	昼食 食事片付 休憩	交流ルーム 敷地内	みんなで楽しく食事 片付、食器・調理器具洗い 敷地内で自由行動
13:30~ 15:30	工作の時間	研修室A B 前庭等	班ごとに分かれて工作 竹で器と箸、水鉄砲等のおもちゃづくり 途中で15分程度休憩 工作ができたら作ったおもちゃで遊ぶ
15:30~ 16:00	清掃時間 終わりの会	使用した部屋 すべて	班ごとに分かれて清掃
16:00~ 18:00	放課後受入	交流ルーム	DVDの鑑賞等 迎えがきたら帰宅

2日目 8月4日(木)

基本的に1日目と同じですが、この表のように内容が変わります。

11:30~ 12:15	調理時間	調理室 交流ルーム	昼食づくり(3年生、4年生) 流しそうめん、野菜サラダ等 1、2年生、5、6年生はお昼ができるまで教室内で遊びの時間
12:15~ 13:30	昼食 食事片付 休憩	前庭 敷地内	みんなで流しそうめん 片付、食器・調理器具洗い 敷地内で自由行動
13:30~ 15:30	工作の時間	研修室A B 交流室1、2	次の2種類を作ります ガラスアートでキャンディーボックス プラ板キーホルダー 途中で15分程度休憩

※ 1日目の竹工作や2日目の流しそうめんのセットは、公民館学級のおやじ学級生の皆さんがスタッフとして一緒にさせていただきます。



夏休み

箕輪町公民館講座

# 子ども寺子屋教室

2日間、学校とは違う仲間と、  
勉強したり、工作をして夏休みを楽しもう！

1日目 8月3日(水)

9時～16時(受付8時30分～)

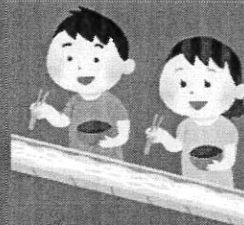
- 夏休み帳(自習)○カレーライス作り
- 工作(竹で、そばちょこ、はし、おもちゃ作りほか)



2日目 8月4日(木)

9時～16時(受付8時30分～)

- 夏休み帳(自習)○流しそうめん
- 工作(ガラスアート、フラ板キーホルダーほか)



【場 所】 地域交流センターみのわ

【対 象】 箕輪町内小学生

【定 員】 30人 (先着順)

【参加費】 1,000円(昼食、おやつ、材料代)

※アレルギーなどの理由で昼食、おやつ持参のお子さんは500円

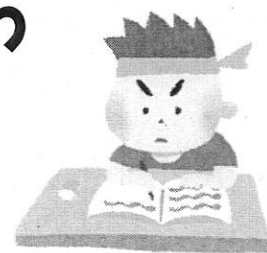
○詳しい内容は後日通知いたします。

【時間外受け入れ】早朝:7時30分～ 放課後:18時まで

※希望される方は、町公民館へお申し出ください。

【申し込み・問い合わせ】箕輪町公民館 79-2178

申し込み用紙は裏面にあります。しめきりは7/20(水)



# 8/7(日)実施 箕輪町 セーフコミュニティ 事前指導 タイムスケジュール

2016/7/20 現在案

※会場は、箕輪町地域交流センターです

総務課SC推進室

番号	時間	会場	内容	発表者	多目的ルーム
①	9:00 ~ 10:00	研修室A、B	全体概要発表	町長、向山SC推進事務局長	外傷委員控室
	10:00 ~ 10:10	交流室2	休憩		
②	10:10 ~ 10:50	研修室A、B	外傷調査委員会プレゼン	塚原委員長、外傷調査委員	交通安全委員控室
	10:50 ~ 11:00	交流室2	休憩		
③	11:00 ~ 12:00	研修室A、B	交通安全対策委員会プレゼン	荻原委員長、交通安全対策委員	高齢者安全委員控室
	12:00 ~ 13:00	交流室2	昼食		
④	13:00 ~ 14:00	研修室A、B	高齢者の安全対策委員会プレゼン	鈴木委員長、高齢者安全対策委員	子ども安全委員控室
	14:00 ~ 14:10	交流室2	休憩		
⑤	14:10 ~ 15:10	研修室A、B	子どもの安全対策委員会プレゼン	日岐委員長、子どもの安全対策委員	くらし安全委員控室
	15:10 ~ 15:20	交流室2	休憩		
⑥	15:20 ~ 16:20	研修室A、B	くらしの安全対策委員会プレゼン	黒田委員長、くらしの安全対策委員	自殺対策委員控室
	16:20 ~ 16:30	交流室2	休憩		
⑦	16:30 ~ 17:30	研修室A、B	自殺予防対策委員会プレゼン	塚原委員長、自殺予防対策委員	各対策委員長
	17:30 ~ 17:50	交流室2	休憩		
⑧	17:50 ~ 18:20	研修室A、B	審査員講評	町長、副町長、教育長、各対策委員長、参加希望者	

平成24年5月12日、箕輪町は日本で4番目、町村で初めてWHO（世界保健機関）協働センターから、セーフコミュニティ国際認証を取得しました。初認証以来、4年を迎え、再認証取得に向けた「事前指導」を中国のワン・シュウメイ審査員の来町いただき、8/7（日）に実施します



箕輪町役場 総務課 セーフコミュニティ推進室  
79-3111 (内線)193,195 担当 小田切  
soumu@town.minowa.nagano.jp



## セーフコミュニティ取組みについて

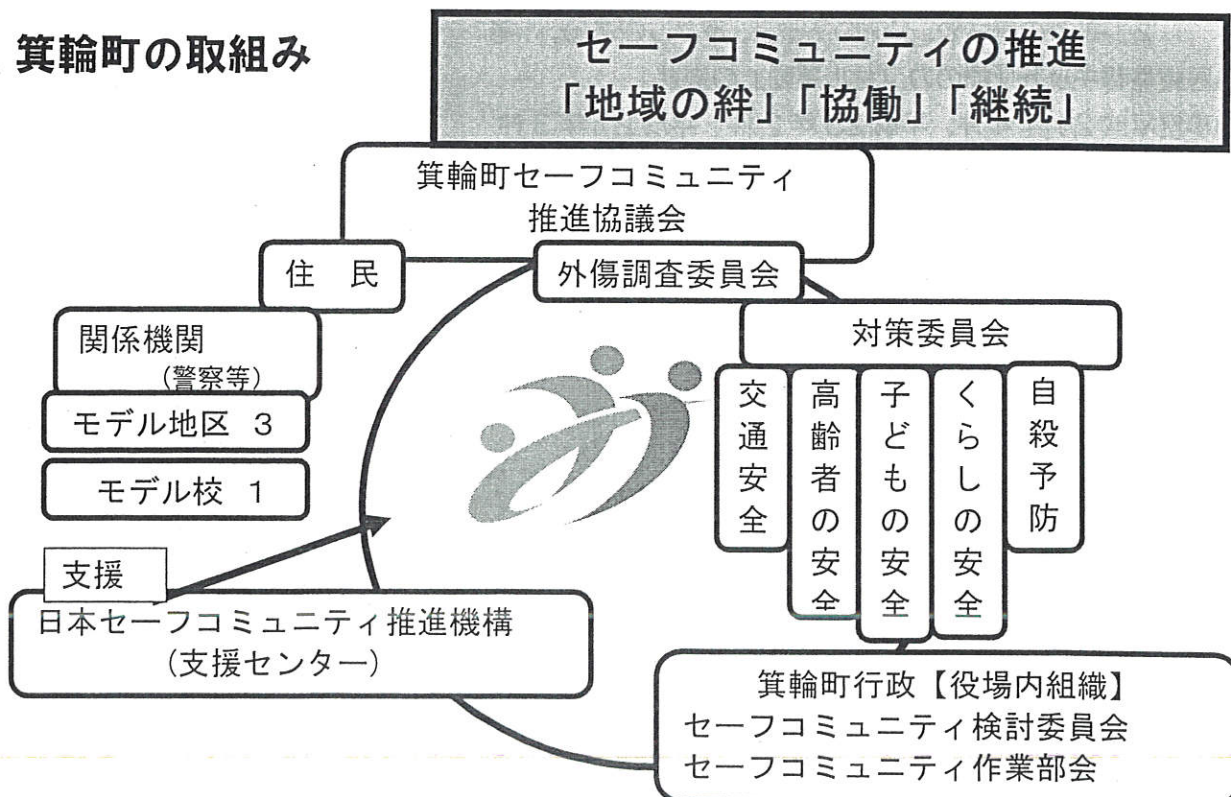
### セーフコミュニティとは

- 『セーフ』は『安全・安心な』、『コミュニティ』は『地域社会』という意味です。  
「事故、自殺、犯罪によるけがなどは、偶然の結果ではなく、予防できる」という考えのもと、行政、警察、地域、家庭、学校などのすべての関係者が連携・協働して、安全・安心に暮らすことができるまちづくりを進める取組みです。

### セーフコミュニティの歴史と箕輪町の取組み

- 1970 年代、スウェーデンでけがを減らす取組みとして始まり、医療費が大幅に削減しました。この結果に WHO が注目し、WHO 協働センターが認証を与えたのがはじまりです。  
現在、世界では 2016 年 2 月現在 372 の都市・地域が認証を取得しています。  
※1989 年、WHO の支援によりスウェーデンで開催された第一回世界事故・外傷予防会議にて「セーフコミュニティ」という概念が宣言されました。
- 日本では、2008 年 3 月に京都府亀岡市が初めて認証を取得、その後青森県十和田市、神奈川県厚木市が取得。箕輪町は 2009 年 1 2 月 1 4 日に取組みを宣言し 2012 年 5 月 12 日全国で 4 番目、全国の町村及び長野県内では始めて認証を取得しました。  
現在国内では、13 自治体が認証を取得し、多くの自治体が取得をめざしています。
- 2013 年 11 月、認証自治体と認証を目指している自治体で構成する全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議(15 自治体参加)は「災害時相互応援に関する申合せ」を行い、防災関係でも連携を強化しています。
- 箕輪町は 2014 年 3 月に認証取得の 5 月 12 日を「箕輪町安全安心の日」と宣言し、日本記念日協会へ記念日登録しました。箕輪町安全安心の日には活動の推進を期することとし、2015 年には共通・共感テーマと推進補助金制度も設けました。

### 箕輪町の取組み





### 自殺予防対策委員会

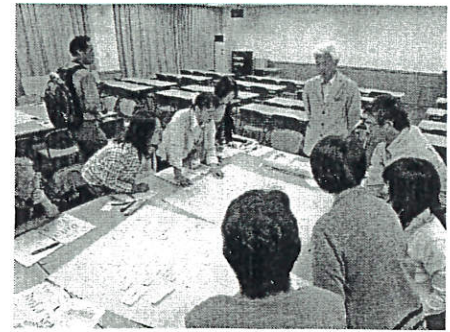
課題は、

- ①自殺について正しく理解されていない。
- ②男性は悩みを相談する人が少なく、これまでの周知方法では情報が伝わりにくい。 等

- ・ゲートキーパー（門番）の養成
- ・ネットワークの構築

(2013 年 10 月 10 日箕輪町自殺予防対策連絡会発足)

- ・こころの相談窓口や、みのわ健康相談ダイヤル 24(2013 年 5 月～2016 年 3 月終了) 等



### 交通安全対策委員会

課題は、

- ①夜間の重傷事故割合が多い。
- ②高齢者事故のうち運転者の事故が多い。 等

- ・体験型講習会「オール・反射・ナイト作戦」実施
- ・高齢者交通安全教室開催 ・交通安全タスキリレー
- ・飲酒運転撲滅運動(飲酒運転撲滅店宣言証・平成 28 年～)
- ・体験めがね活用



### 高齢者の安全対策委員会

課題は、

- ①屋内での転倒事故が多い。
- ②骨折、骨粗しょう症による介護保険認定者率増加 等

- ・「安全・安心の知恵袋」活用の促進
- ・介護予防教室開催・(飲酒運転撲滅運動)
- ・靴かかと反射シール(平成 28 年 1 月～) 等

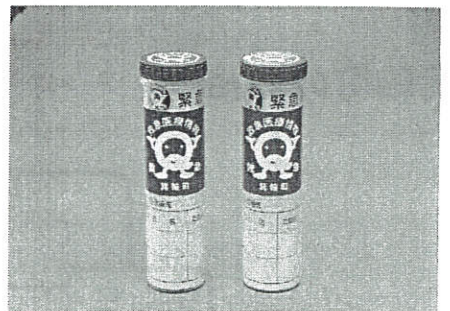


### くらしの安全対策委員会

課題は、①日中独居世帯を含めた独居世帯の不安

②道路等の暗さや、夕刻の不審者、声かけがある。 等

- ・救急医療情報キット「命のカプセル運動」の推進  
活用事例平成 24 年 4 件、平成 25 年 2 件 平成 27 年 3 件
- ・町を明るくする運動の推進 ・挨拶運動
- ・地震被害の軽減対策(平成 28.3～)



### 子どもの安全対策委員会

課題は、①小中学校では、体育館・校庭・、廊下・階段、保育園では、遊戯室、廊下、ジャングルジムで怪我多数

②通学路に危険がある。 等

- ・運動あそび
- ・通学安全パトロール隊等による危険箇所マップの作成
- ・箕輪東小学校をモデル校とした取組 ・挨拶運動
- ・箕輪町通学路交通安全プログラム(平成 27 年 3 月～)
- ・KYT:危険予知トレーニング導入(平成 28 年 4 月～)





# 第3回箕輪町キャリア教育フォーラム

～地域の子どもは地域で育てませんか?～

赤そば学習 (西小)

赤そば学習 (西小)

期日 **8月31日** (水)

■時間 15:30～17:30

■会場 箕輪町地域交流センター

(箕輪町文化センター南) 研修室A・B/学習室1・2

## ①小・中学生による活動発表

(予定時間/15:30～16:30)

- ①A 小学生による学習発表  
(中部小・西小)
- ①B 中学生による学習発表
  - ・職場体験学習から学んだこと
  - ・意見発表
- ①C 質問コーナー

米づくり (中部小)

地域で働く方との  
座談会 (箕輪中)

保護者の  
皆様も  
ぜひご参加  
ください。

## ②事業所の方々と中学生による意見交換会

(予定時間/16:40～17:30)

- ・各事業所での受け入れの工夫など
- ・職場体験学習をさらに充実させるには、など  
(中学生も各グループに入って参加します)

※「②事業所の方々と中学生による意見交換会」に参加される事業所の方は、下記に記入の上、FAXでお申し込みいただくか、箕輪町教育委員会 学校教育課 (文化センター内) までご持参ください。

申し込み締め切り 8月17日 (水) 必着

■お問い合わせ先: 箕輪町教育委員会 学校教育課  
TEL: 0265-70-6603 FAX: 0265-79-6368

■主催: 箕輪町キャリア教育推進協議会

点字学習 (中部小)



事業所名

お名前

ご住所

電話番号